

パースでミツはたハチミツのヒミツ Honey in Perth

ハチミツのできるまで

西オーストラリア州の

養蜂家

を訪問!

ミツバチを育てて管理し、ハチミツの採取を行なうのが養蜂家の仕事。西オーストラリア州に春が訪れ、1年で最も忙しい時期を迎えている養蜂場を訪問した。

豊かな自然に囲まれた環境に100個以上の巣箱が並び、2段重ねの上の箱が巣箱、下の箱は養生のための箱。

まずは養蜂場を見学!

採蜜は、ミツバチが一晩中水分の蒸発につとめて、花蜜が濃縮された状態になっている午前中に行なう。養蜂業を営むポールさんに案内していただいた。

中に枯草を入れて火を点け、煙を出す。

燻煙器

煙を吹きかける

ハチに煙を当てると活動が抑えられる!

準備



安全のためにつなぎの防護服と網の付いた帽子を着用してから、作業を開始する。



巣箱の点検や採蜜が容易にできるように、煙を吹きかけてミツバチをおとなしくさせる。「約6万匹のミツバチが1箱の中にいます」と話すポールさん。

巣箱の内部



巣箱の中には巣枠(木製の外枠で、これにミツバチが巣を作る)が何枚も格納されている。

巣箱を開ける



ミツバチの出入りを邪魔して刺激しないように、巣箱の後ろに立って開ける。

巣



巣枠にはミツバチがびっしり! ハチミツがたまった巣枠は、数回振ってミツバチを離し、ハチミツの抽出作業のために他の箱に移し変えて、トラックで工場へ運ぶ。巣枠は空のものを入れ替えておく。